

第二回 多職種連携研修部会 の報告です。



多職種連携研修部会で今年度の 研修計画を協議しました。

さる7月10日（月）18:30-20:00 市民プラザ第4
会議室にて、多職種連携研修部会の協議がありました。

参加者は、部会メンバー6名全員と行政事務職です。

以下の内容が話し合われました。

1. 部会のめざす姿

多職種が連携して、対象者の生活を支えるために、担
当者会議、退院前カンファレンスなどを円滑に行うことがで
きるようになることをめざす。

- ・地域連携連絡票を共通のツールとして使いこなす。
- ・各職能団体のリーダーを養成する（年間3回、3年で100人程度）。
- ・各職種の視点で意見交換を行い、効果的な活用方法について検討する。

2. H29年度リーダー養成研修計画（案）

目 標：その人らしさ、持ち味、生活力をかかわる皆で
共有し、その人が本来持つ力を引出し、在宅での生活を
継続していくために、地域連携連絡票を活用することがで
きる。

実施回数：年3回（9/26、11/28、2/27）

対 象 者：1グループ8～10人 × 3 = 30名程度
（医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、相談員、リ
ハ職、管理栄養士、ケアマネ、介護サービス事業所など）

研修内容：地域連携連絡票の作成方法・活用方法
を学ぶ

第1回：地域連携連絡票について学ぶ

- ・地域連携連絡票の構成・作成方法について
- ・介護認定情報・意見書から、地域連携連絡票を作成する。
- ・ケースについて、各職種でかかわれることを話し合う。

第2回：退院前カンファレンスについて学ぶ

- ・退院前カンファレンスの意義と流れ
- ・退院前模擬カンファレンスを行う。
- ・ケースについて、各職種でかかわれることを話し合う。

第3回：在宅サービス担当者会議について学ぶ

- ・サービス担当者会議の意義と流れ
- ・サービス担当者模擬会議を行う。
- ・ケースについて、各職種のかかわれることを話し合う。
- ・担当者会議を円滑に行うためにどうしたら良いか話し合
う。

※今後、具体的に各職能団体に参加者をつ
のっていく予定です。研修内容もこれから部会メ
ンバーを中心に、楽しめる研修をめざして検討
していきます。*